ちょっとした、得する！耳寄り情報　Vol.73

てんこもり

発行：丸ス産業株式会社　「てんこもり」編集部
TEL：0574-72-1318　FAX：0574-72-2739

朝夕は急に冷えこんできましたね。秋の夜長、お酒に読書にお喋りに…皆さんはどんな風に過ごされていますか。

メニューその1

雲海×紅葉の絶景を楽しむ

岐阜県白川村から石川県白山市へと続く全長33．3kmの白山白川郷ホワイトロードは、標高差のあるルートだからこそ、長い期間にわたって紅葉を楽しめる魅力的な道です。近年は、10月中旬から三方岩岳の山頂付近が色づき始め、10月下旬には山腹や谷間まで紅葉が広がり、供用期間閉鎖までその美しさを堪能できます。

岐阜県と石川県の県境にある三方岩岳は、三方岩駐車場から50分程登ったところにある標高1736mの山です。白山や北アルプスなど、360度広がる景色を楽しむことができるほか、これからの季節は、眼下の紅葉を楽しめます。また、岐阜県側の白川郷展望台からは運が良ければ、一面に広がる雲海に出会えることがあります。この、幻想的な雲海に出会う機会を作るため、10月19日まで、「秋のモーニングタイム」として、岐阜県側の開門時間が1時間早まり午前7時からホワイトロードに入ることができます。ぜひ、朝の澄んだ空気の中で、白川郷の山々と雲海が織りなす絶景をお楽しみください。石川県側には、ふくべの大滝はじめ、多くの滝が点在。特にふくべの大滝では、水が断崖を流れ落ちるダイナミックな流れを間近で見ることができ、水しぶきは道路までかかることもあり、沿道随一の名所です。写真映えするスポットもあるため、お立ち寄りください。ぜひ白山白川郷ホワイトロードにお越しいただき、絶景をコンプリートしてください。

通行料金軽自動車1400円　普通車1700円　マイクロバス5000円　大型バス11000円営業時間　午前8時～午後5時ただし、10月19日までは午前7時～午後5時（モーニングタイムは岐阜県側からの入場のみ適用）

by橋本　ホームページ　https://hs-whiteroad.jp/

メニューその2

ぶらり道の駅を訪ねて

陶器好きにはたまらない！「志野・織部」

今回ご紹介するのは、土岐市の国道21号線沿いにある道の駅「陶匠の里　志野・織部」です。

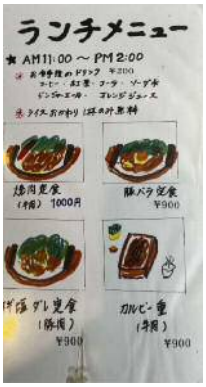
土岐・多治見は、全国的に有名な美濃焼の産地です。この道の駅は、美濃焼の卸問屋が経営しているため、志野焼や織部焼をはじめとする美濃焼を、リーズナブルな価格で購入できるのが最大の魅力です。もちろん、地元陶芸家さんの個性豊かな一点物も手に入ります。道の駅の裏手には、多くの陶器の卸問屋が集まっており、中には一般客が購入できるお店もあります。こちらでは、掘り出し物を見つける楽しみも味わえます。美濃焼は全国的な知名度がある一方で、専門店が少なく、この道の駅にはたくさんの方が陶器を求めて訪れます。また、道の駅の裏手一帯では、5月3日～5日に「土岐美濃焼まつり」が開催され、大勢の人で賑わいます。秋にも開催されることがありますので、陶器好きの方はぜひ開催時期に合わせて立ち寄ってみてはいかがでしょうか。

道の駅には、陶器だけでなく、お土産や食事が楽しめるお店も充実しています。食事処には、東濃地区で有名な「みわ屋」が入っており、絶品のひつまぶしが味わえます。早い時間に行けば、持ち帰り用の「うなめし」がリーズナブルな価格で手に入るのも魅力です。また、スイーツ「青いクマ」では、SNSでも話題のソフトクリームが楽しめます。見た目もかわいらしく、もちろん味も絶品です！営業時間：9時～18時（1月1日を除き年中無休）岐阜県土岐市北山町2-13-1　TEL 0572（55）3017　by小栗

メニューその3
美味しいお店のご紹介

本稿では、岐阜市芥見、１５６号線沿いにある喫茶店「ボナール」を紹介します。地元で長く愛され続ける人気店です。今回は、その魅力あふれるランチをご紹介します。

店内に入ると、食欲をそそるジュージューという音と香ばしい匂いが迎えてくれます。鉄板で提供される焼肉定食や和風ハンバーグ定食、昔ながらのナポリタンなど、人気メニューを求めて多くのお客さんで賑わっていました。



数あるメニューの中から、私が選んだのはねぎ塩だれ定食。塩だれをまとったしっかり味の豚肉は野菜（キャベツ、もやし、玉ねぎ）との相性も抜群です。中央に乗せられた卵を崩し絡めると、まろやかさが加わり、さらにご飯が進みます。

ちなみにランチはご飯が一杯おかわり無料なので、たくさん食べたい方にも嬉しいサービスですね。さらにプラス２００円でドリンクがつきます。家族が頼んだエビフライ定食も、身はプリプリしており、タルタルソースと相性抜群で大満足だったようです。

店の魅力はランチだけではありません。モーニングも人気で、特に揚げパンのモーニングは珍しいので、ぜひ試してほしい一品です。

明るく広々とした店内は居心地が良く、老若男女問わず、地元の人々に愛されている理由がわかります。芥見方面にお越しの際は、美味しい食事と温かい雰囲気を楽しめる「ボナール」に、ぜひ立ち寄ってみてはいかがでしょうか。ボナール所在地　岐阜市芥見長山３丁目６－３　℡０５８（２４１）２３３３　営業時間　８時30分～21時（土曜日は19時）定休日　木曜日

ｂｙ井戸

メニューその4
てくにいくの種

先日、一枚の写真に心惹かれました。下北ジオパークの垂れ幕です。下北半島にある湖は、薩摩半島の湖と同じく、火山活動でできたカルデラ湖でした。地形に興味がある私にとって、こうした地形の成り立ちは、深堀せずにはいられないテーマです。

日本列島の半島たちは、地図上では突起に過ぎませんが、それぞれが独自の物語を秘めています。その形成には、プレート運動による地殻の隆起、火山噴火、土砂の堆積、水による侵食が複雑に絡み合っています。例えば、伊豆半島は、遥か昔に海底にあった火山島が、プレートの動きに乗って本州に衝突・合体した歴史があります。房総半島は、プレートが沈み込む力で地盤が隆起して海から顔を出したと言われています。

半島の多くは「陸の孤島」と呼ばれ、交通の便の悪さが、独自の文化を育むことに繋がりました。毎年大晦日の晩に放映される「なまはげ」は、閉ざされた環境だからこそ、今に受け継がれた文化なのでしょう。日本の半島は、地球の息吹と、そこで営まれてきた人々の暮らしを語りかけています。ちなみに、今私が一番気になる半島は佐田岬半島で、日本一細長い半島です。伊方の魚と日本酒を嗜みながら、伊予青石（三波川系結晶片岩）の美しい石垣を眺める。うぅ～ん、行ってみたい！

ｂｙＦＡＴかとう

メニューその5
技術講演会報告

９月19日（一社）岐阜県構造物強靭化技術協会主催の技術講演会が「ホテルグランベール岐山カルチャーホール」にて開催され、１００人を超える参加者がありました。

福岡大学木下教授による基調講演は、『鋼構造物の維持管理とメンテナンス』がテーマでした。補修において『早期発見・早期対策』がいかに重要かを強調されました。また、『疲労対策』のための最新技術についても解説いただきました。

続く施工事例報告では、『シヨットピーニング技術の実際の活用事例』や、『寒冷地特有の漏水問題』に対する新しい解決策が紹介されました。いずれも現場で活かせる貴重な知見を得ることができました。

今回の講演会は、インフラ老朽化という社会課題に対し、我々技術者がどのように向き合っていくべきか、改めて考える貴重な機会となりました。強靭化協会は、今後も社会の安全・安心に貢献するため、このような講演会を企画していくとのことです。機会があるときはぜひご参加ください。ｂｙｏｇｕｒｉ